

公的医療機関等 2025 プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

名古屋市重症心身障害児者施設			
【地域において今後担うべき役割】（P6）			
<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市の重症心身障害児者の支援に係る拠点としての機能を担っていく。 ・利用者数確保のための具体的な計画を作成するとともに、重症心身障害児者のセーフティネットとしての機能を担うことで、稼働率の向上を図る。 ・職員研修等を通じて、福祉施設としての基本的な理解、知識の向上を図る。 ・障害の重度化に対応するため、職員個々の専門的知識の蓄積によるスキルアップ及び専門職の充実を図る。 ・福祉、医療、保健、教育、介護、その他の関係施設・機関と連携を図り、地域における重症心身障害児者の支援体制を構築するため、具体的な検討を行う。 			
【今後持つべき病床機能】（P6）			
名古屋市内の重症心身障害児者を対象とした拠点施設として、慢性期としての病床機能を継続していく。			
【今後の方針】（P7）			
	現在 （平成28年度病床機能 報告）		将来 （2025年度）
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	90床		90床
（合計）	90床		90床
【その他の数値目標】（P8）			
医療提供に関する項目			
・利用者数：療養介護及び障害児入所支援80名、短期入所10名			